

第17回くまもとアートポリス推進賞

募集要項

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残り得る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

この事業の目的を達成するため、コミッショナーから国の内外より推薦を受けた設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や各種のイベント、広報事業等を行い、さらに幅広く県民の皆様の御理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を行っています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的としています。

表彰対象

概ね5年以内に竣工（改造、改修、修復を含む。）した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等（くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。）とします。

選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- ① ②～⑥の評価ポイントがデザインに反映され、優れているもの
- ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの
- ③ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの
- ④ 施設の活用に創意工夫がみられるもの
- ⑤ 地域づくりに寄与しているもの
- ⑥ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの
- ⑦ 良好な施工が行われているもの
- ⑧ 維持・管理が良好なもの

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。事業主（必要に応じて管理者を含む。）、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。

応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員（50音順）

青木 淳（神戸芸術工科大学客員教授、青木淳建築計画事務所代表）

大野郁子（イラストレーター、JAGDA会員）

北野 隆（熊本大学名誉教授）

高橋晶子（武蔵野美術大学教授、ワークステーション共同主宰）

塚本由晴（東京工業大学大学院准教授、アトリエ・ワン）

土田 隆（熊本日日新聞社文化生活部次長）

西嶋公一（オフィス・ムジカ代表、熊本県文化懇話会常任世話人・熊本県文化協会常務理事）

選考経過

募集：平成23年 9月 5日(月)～10月21日(金) 応募件数 35件

書類選考：平成23年12月 7日(水)

現地審査：平成24年 1月24日(火)～25日(水) 現地審査件数 10件

最終選考：平成24年 1月25日(水) 推進賞 2件、推進賞選賞 7件

表彰式：平成24年 3月13日(火)

熊本県

土木部建築住宅局建築課

〒862-8570

熊本市水前寺六丁目18番1号

Tel:096-333-2537 fax:096-384-9820

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/artpolis/>

くまもとアートポリスのマーク



シンボルマークは3つの楕円と1つの小さな丸で構成されています。

3つの楕円は、左から順に「地球/世界」「くまもとアートポリス/熊本」「ひと/地域」が、互いにつながっていることをあらわします。楕円の傾きは地球の地軸の傾き（太陽を中心とする公転軌道に対する地球の軸/南北の傾き）と同じ23.5度です。

シンボルマークは、くまもとアートポリスの目標「地域と対話、地球とネットワーク」に対応しています。くまもとアートポリスは、地域に生活する人々と対話しながら様々な建造物や環境を創造します。同時にこのような活動は、常に地球規模のネットワークとも繋がり、世界的な環境への配慮や地域文化的な広がりをもっていることを示しています。

kap

2011年度 第17回
くまもとアートポリス推進賞

KUMAMOTO ARTPOLIS

第17回「くまもとアートポリス推進賞」の選考を終えて

選考委員長 北野 隆

「くまもとアートポリス推進賞」は、「くまもとアートポリス」事業の一環として、質の高い優れた建造物を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的に、1995年より行われている事業です。2011年度・第17回目の事業が実施されました。

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」には、総数35点の応募作品がありました。応募作品の用途は専用住宅・共同住宅・事務所・病院・保育所・旅館など、構造は鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造など、規模も大小さまざまでした。

第1次選考の書類審査は、全作品の設計者・施工者・事業主などを隠した上で、選考委員（7名）が各自の持点10点をA（3点）・B（2点）・C（1点）の3段階に分けて評価しました。各選考委員の評価を集計しますと、作品は分散した結果になり、点数の上位から下位の全作品について討議し、各選考委員の意見も加味しながら、第2次選考の現地審査作品・10作品が選出されました。

現地審査では、設計者へ建築のコンセプトや構造など、事業主には建築の使い方などについて質疑応答がなされました。現地審査では、第1次の書類審査（設計図）では把握できない周辺環境との関係、建築空間の取扱い、素材の感触などが体験できました。

最終的には「推進賞」として「熊本市医師会館・看護専門学校」・「高瀬」の2作品、「推進賞選賞」として「宮原邸」・「嘉島の家」・「田園住宅（篠崎邸）」・「I-apartment」・「松の湯」・「矢部の家」・「Shipな家」の7作品が選ばれました。

これら9作品については、選考委員の先生方が詳細な講評を述べられていますので、各作品のページ

をご覧ください。

また、これら9作品について、私なりにそのデザイン手法を分類すると次のようになるように思われます。

○設計者は、はっきりしたデザイン・ポリシーを持ち、そのデザインを追求した作品

「熊本市医師会館・看護専門学校」、「宮原邸」、「嘉島の家」、「Shipな家」、「I-apartment」

○歴史的建築にこだわりながら、地域づくりに寄与している作品

「高瀬」、「矢部の家」

○建築素材を生かしながら、周囲の環境と融合させた作品

「松の湯」、「田園住宅（篠崎邸）」

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」の応募作品35点は、質の高い作品が多く選考するのに苦労しました。その為、これらの作品から「推進賞」2点、「推進賞選賞」7点の9作品が選ばれました。建築的な特徴は、伝統的建築を修復した作品や現代的作品などいろいろでした。「くまもとアートポリス推進賞」も本年度で17回を数え、県内だけでなく、県外の建築関係者にも浸透したことがうかがえます。設計者も県内だけでなく東京都・神奈川県に及ぶなど、その成果が着実に浸透していることが感じられました。



「熊本市医師会館・看護専門学校」



事業主 ■ 社団法人熊本市医師会
設計者 ■ 古谷誠章+NASCA+中川建築設計共同企業体
施工者 ■ 松尾建設株式会社熊本支店
所在地 ■ 熊本市本荘
竣工年月 ■ 平成23年3月
用途 ■ 事務所、専修学校
構造 ■ S造
階数 ■ 地上5階
敷地面積 ■ 5,187.78㎡
建築面積 ■ 1,803.43㎡
延床面積 ■ 7,278.07㎡

市街地の重要な一画を占める場所に建つ医師会館と看護専門学校の複合施設。

内部は大小数多くの部屋が無駄なくプランニングされながら、デリケートに考え抜かれた素材とディテールが各所に施されている。それらが空間を引き締め、全体として大変高い質を持つ多彩な場の集合体になっている。

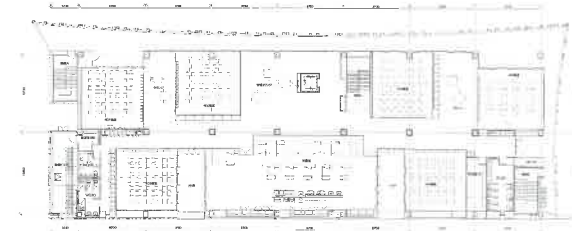
南と東側ファサードに設置されたアルキャストルーバーは、アルミの軽快さとキャスト（鋳物）の重厚さを兼ね備え、ゆらぎのある配置と孔の表情がこの建物にオリジナリティを付与している。ルーバーの設置されたバルコニー・通路は、外部と内部をつなぐ縁側のような中間領域として機能する。

一点残念だったのは、駐車場が街路に対しそっけない表情だったことである。建物西側外観は西日を避けることもあって開口が小さめなので、そこに隣接する駐車場を、隣の敷地のパーキングかと一瞬、勘違いした。表通りの街路景観を意識した何らかの工夫が駐車場になされれば、かなり印象が違ってくるように思う。

（高橋 晶子）



1階平面図



4階平面図 S=1/200



「高瀬」



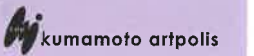
事業主 ■ 高瀬まちづくり協議会 矢田部知明
 設計者 ■ 村田明彦 村田建築設計所
 調査協力・施工 ■ 社団法人熊本建築士会 あらたま支部
 コーディネート
 所在地 ■ 玉名市高瀬
 竣工年月 ■ 平成20年3月～平成23年3月
 用途 ■ 住宅及び店舗
 構造 ■ W造土壁
 階数 ■ 地上2階

「高瀬町」は、江戸時代には肥後藩の「五ヶ町」に指定され、米の積出し港として栄えた所であった。その中心が「本町通り」である。この「本町通り」の町屋は、間口3間～5間からなり、奥行きが長い敷地である。このような敷地の裏には石垣積みの「高瀬裏川」が通っている。今までこの「高瀬裏川」の景観について整備が行なわれてきた。今回、「高瀬まちづくり協議会」が「本町通り」の町屋について、「通り」に面する「ファサード」の復元が行なわれている。鮮魚点・茶舗・酢屋など五店が復元されていた。復元に際しては、「元あった姿に戻すこと」をモットーに事前調査を行っているという。これらの町屋は、二階からなる家が多く、一階は「本町通り」に対して、全て開放され「通り」と一体になっていた。今後も伝統的町屋について順次、「ファサード」の復元を行っていくという。復元された伝統的町屋が並んでくると、繁栄した当時の「人間的・暖かさ」や現代人にとっては「なつかしい空間」が生まれるものと思われる。

(北野 隆)



「宮原邸」



事業主 ■ 宮原陽
 設計者 ■ MAD 早野洋介
 施工者 ■ 株式会社建吉組
 所在地 ■ 熊本市本山
 竣工年月 ■ 平成23年6月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ RC+S造
 階数 ■ 地上3階
 敷地面積 ■ 594.68㎡
 建築面積 ■ 143.25㎡
 延床面積 ■ 234.00㎡

「ヤッホー」。門から一歩足を踏み入ると、寒空にも関わらず元気に遊び回る子どもたちの声が出迎えてくれた。

熊本駅に程近い白川の左岸。約600平方メートルの広大な敷地に、存在感ある3階建てがそびえる。正面から眺めると、まるでお城のような威容。玄関脇のコンクリート階段を上る時、ある審査員は「城攻めに向かうよう」とつぶやいた。

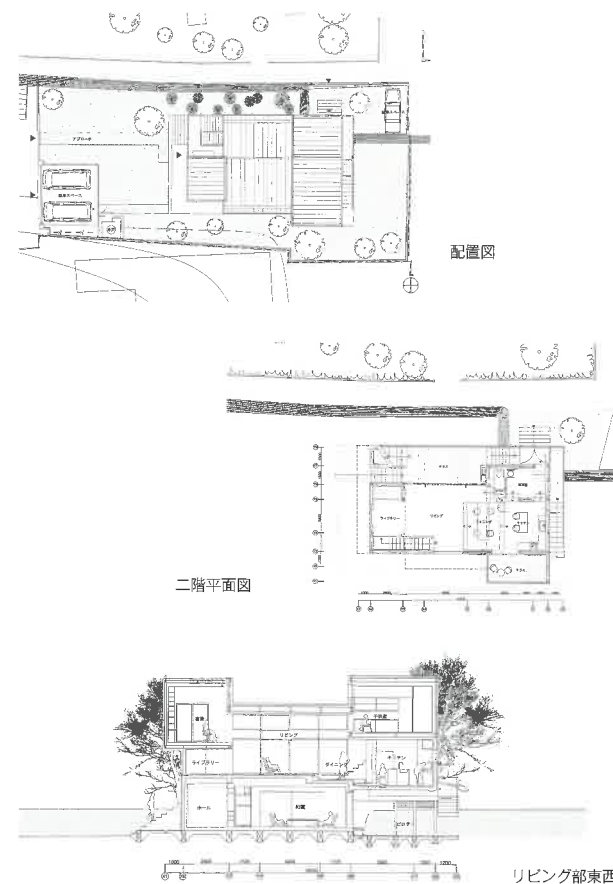
内部は、2階の大きなリビングとダイニングを中心にした立体的な構造。段差が多いのがやや気にはなったが、生活に支障はなさそうだ。

リビングの上部、3階部分の両サイドには、子ども部屋と書斎。いずれもリビングを見下ろす形で、いろんな使い方がありそうだ。遊び心あふれるレイアウトに感心させられた。1階には落ち着いた雰囲気のと室と、ピロティがあり、各階ごとに多彩な表情を見せる。

それぞれの階を回り込むように外階段やテラスが付けられ、その部分だけでも生活できそうな(暑さ寒ささえしのげれば)広さを備える。もちろん、庭も十分過ぎる広さ。「ヤッホー」という楽しそうな声も腑に落ちた。

自然豊かな環境に囲まれ、春には桜並木を間近に眺めることもできる。何ともぜいたくなロケーションと家の造りだが、不思議と温かで優しい雰囲気を醸しており、好感が持てた。

(土田 隆)





「嘉島の家」

kumamoto artpolis

事業主 ■ 田代智久
 設計者 ■ 久野啓太郎+一級建築士事務所ヒマラヤ
 施工者 ■ 株式会社岩永組
 所在地 ■ 上益城郡嘉島町北甘木
 竣工年月 ■ 平成21年10月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 360.83㎡
 建築面積 ■ 93.95㎡
 延床面積 ■ 163.79㎡

1階を親世帯、2階を子世帯に割り振った2世帯住宅である。とは言え、その間になんらかの関係を持たせようという努力があって、かつその点においていくつかの達成が見られたことがすばらしいと思う。

もっとも大きい達成は、「第三の玄関」という考え方の導入である。これは、2つの世帯への第一、第二の玄関に加えて、アプローチから家の中腹を貫いて庭に至る、つまりは「庭への玄関」を挿入するというアイデアで、この特異なジャンクションが、さらにふたつの世帯のジャンクションともなっている、というところがミソである。つまり、家の中心が大黒柱のようなモノではなく、「三叉路」という交通空間あるいはコトになっているわけで、これは思いつきそうだが実はそうそうない創案であり、ここから今後大きく展開できる可能性があるアイデアだと思った。

また、この家は、各世帯に応じたまったく異なる感覚を与える2層の住宅空間からできているわけだが、外観としては、その違いを、なんとかひとつの統合された雰囲気/構成にまとめようとしている。そのために、各世帯の玄関に重心を与える外観が常識的な解答であるところを、そうではなく、組み合わせをずらし、親世帯の玄関と第三の玄関に重心を与えることで、あらかじめ二世帯住宅という読み取られ方を回避するというスマートな解が与えられている。そしてその上で、その親世帯の玄関を強調する要素として上階に大きな窓が設けられているのだが、これが2階の空間全体を象徴する「家事室」の開口になっていることにはユーモアさえ感じられる。

さらに、裏の庭からその先に続く畑が、1階と2階で全く異なるタイプの景と捉えられているのもおもしろい。それは、畑の地盤がやや上がっていることから可能になったことだろうが、1階からの景では庭の樹木が主役になって、それをスクリーンとして、背景として空間の広がりを感じられる一方で、2階では逆に大きく広がる畑が部屋の伸びやかさを強調する、というふうに、ひとつのものからまったく別の顔を引き出せていたことは特筆に値する。

(青木 淳)

撮影：石井 紀久



「田園住宅(篠崎邸)」

kumamoto artpolis

事業主 ■ 篠崎秀夫、枝美子
 設計者 ■ 有限会社UL設計室 柴田真秀
 施工者 ■ 中村建築工房
 所在地 ■ 熊本市大鳥居町
 竣工年月 ■ 平成22年8月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上1階
 敷地面積 ■ 499.99㎡
 建築面積 ■ 187.13㎡
 延床面積 ■ 150.69㎡

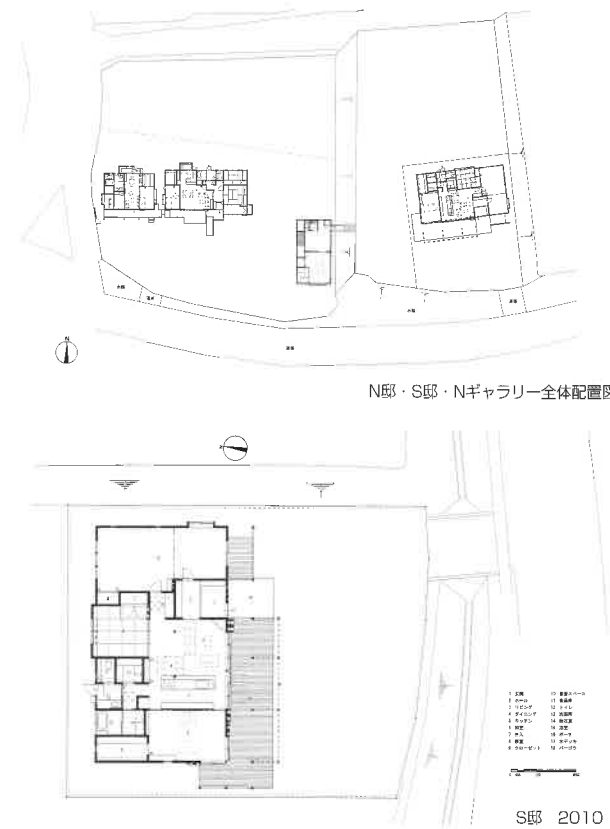
周り四方に田圃が広がる山あいの、小さな集落のようなたたずまい。それは記憶に残る農村風景を思い起こさせる。

まず両親と姉夫婦が古い二件の家を改修、その後妹夫婦が隣に家を新築して、一度は離れた家族が年を経てまた集まった。この住宅群の魅力は、まずここに隣り合って住もうというビジョンを家族が共有し実践したこと、そしてひとりの建築家がこの家族をサポートして、田畑に囲まれながら住むことの良さを最大化するような家づくりを一貫して試みていることによるものと思う。

伝統的日本人家屋がもつ親自然的な造りを継承して、周辺の風景、風、陽光を室内に取り入れている。夏涼しく冬暖かい室内環境をもたらす二重庇の先には、さらにキウイの柵が連続している。夏場はこちよい木陰となった広いテラスにみんなが三々五々集うだろう。また、元農業用倉庫を改造した「コミュニティスペース」は、共通の趣味や来客に対応する共有の場になっている。

この小さな集落に加わった住まい手が、これからさらに外部環境との親密なつながりを増やし、豊かな田園生活を築かれるよう期待する。

(高橋 晶子)



撮影：吉田 誠



「I-apartment」

事業主 ■ 石原クニ子
 設計者 ■ 長野聖二+小川貴久雄+長野聖二・人間建築探検處
 施工者 ■ 有限会社竹本総合建設 竹本直五
 所在地 ■ 熊本市出水
 竣工年月 ■ 平成23年6月
 用途 ■ 共同住宅
 構造 ■ RC造
 階数 ■ 地上3階
 敷地面積 ■ 952.98㎡
 建築面積 ■ 665.77㎡
 延床面積 ■ 1,613.82㎡

南北に長い敷地を長手方向に3分割して、東西の住棟で中庭を挟んだ明快な構成を持つ集合住宅。面白いなと思ったのは、計画上の配慮がこの中庭に色々な部分を作り上げているところである。例えば、接道する西棟の1階ピロティ駐車場との接続、東棟の洪水対策で1m近く上げられたレベルの設定、西棟の二階への幅広の階段による接続、二階の住戸入り口前のデッキテラス。これらがすべて中庭の領域にあり、かつすべての住戸の入り口がこの中庭に面しているの、いつも人の気配が感じられる中庭になっているところが良いと思った。ただ、その代償として大きな平場は確保できなくなっている。つまり、インターフェースばかりが集められて、本体がないようにも見えるのだ。審査の中でも、この規模と形式の関係については議論があった。そもそも、この規模で中庭をかかえ込んだ集合住宅は、これまであまり作られてこなかったの、判断が難しいのだ。住戸内部は1軒のトリプレックスを拝見させていただいた。外側と中庭側の両側に開口部を設けられるので、通風は良いだろう。縦にも繋がった空間なので、階段の上部を工夫して重力換気を積極的に利用する空間計画とするのは欲張りだろうか。しかし住居をすべてトリプレックス、デュプレックとして中庭に住居の入り口をすべて集めるという計画は、企画としても計画としても、意欲的な取り組みであることには変わりはなく、さらなる展開が期待できると感じた。

(塚本 由晴)



配置図



1階平面図

2階平面図



撮影：笹井マサフミ



「松の湯」

事業主 ■ 日奈久温泉松の湯
 設計者 ■ 有限会社F U設計 梅田彰
 施工者 ■ 有限会社田口技建 田口太
 所在地 ■ 八代市日奈久西片町
 竣工年月 ■ 平成23年2月
 用途 ■ 旅館、公衆浴場
 構造 ■ W造一部RC造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 280.97㎡
 建築面積 ■ 182.81㎡
 延床面積 ■ 246.99㎡

日奈久の人々が普段使いで親しんで来た温泉を引き継いで、将来につなげて行きたいという建主の思いが詰まった改修プロジェクト。毎日の利用者はもともと100人。かけ流しの湯量も風呂場の大きさも、その規模に合わせてできている。だから正月などに観光客が混じって150人ぐらいが来ると、うれしい反面お湯が足りなくて困ってしまうそうである。一つの解決はシャワーを設けることだが、ずっとシャワーなしでやってきたんだからと、今回の改修でも湯殿部分は浴槽と屋根の湯気抜きの手直しにとどめたそうだ。改修の中心は、湯殿に隣接する旧旅館部分で、木を用いた清潔で落ち着いた休憩室と内風呂がつけられている。特に湯殿との接点にある番台が秀逸で、出隅にまわされた木製建具のガラス窓を開ければ、こたつに入りながら道行く人を眺め、お客さんの相手ができるようになっている。窓をはさんで近所の人と話がはじまる情景が、ありありと想像できる。改修の手法に新しさがあるわけではないが、そこにすでにあるものつづきや、ささやきを、かき消すことなくうまく救い上げることによって、優しい気持ちにしてくれる作品である。相手を凌駕しないで、良さを引き立てる建築というのは、実は難しいのだ。

心配なのは、現在の毎日の利用者は70人にまで減ってしまっていること。顔見知りのお客さんたちが、一人、また一人と亡くなっていくからだ。でもこれは日本の将来を先取りした姿なのかもしれない。だから、ここから何か新しいことが生まれれば良いなど、心から思った。

(塚本 由晴)



改修1階平面図



改修2階平面図





「矢部の家」

kumamoto artpolis

事業主 ■ 伴光治
 設計者 ■ 村田明彦 村田建築設計所
 施工者 ■ 有限会社村田工務店 村田元成
 所在地 ■ 上益城郡山都町御所
 竣工年月 ■ 平成19年4月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 650.00㎡
 建築面積 ■ 180.00㎡
 延床面積 ■ 230.00㎡

「御所」と呼ばれる山都町(旧矢部町)の奥深き地に、母屋と厩・納屋と石倉の三棟からなる古くからのこの地の典型とされる構えがあり、母屋は築百年以上と

言う。
 主は母屋の建替えか改修かを悩んだが、設計者の勧めによって、大方が健全だった柱や梁を活かした改修となり、「歴史ある我が家を壊す事なく、守って、息子達に引継ぎたかった」という主の思いが叶った。

構造補強の為のRC壁が加わり、広い玄関土間が残され、釜戸に加えてキッチンとダイニングが設けられて、三世代が暮らす。

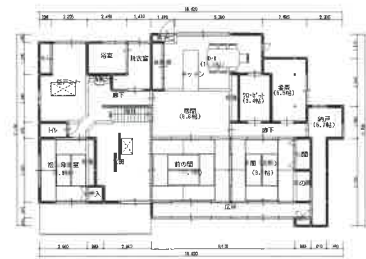
主は「夏は暑く、冬は寒い。それが当たり前。」と言い、機械空調を避けた。内壁は土壁にして吸湿を高め、玄関建具の工夫で土間への風通しを得た。土間中央には、防火および蓄熱を兼ねたRC壁を背にして薪ストーブが設置され、吹き抜けを伝って2階も温める構造となった。

拡大された吹き抜け空間から新旧の梁が見渡せ、2階に上がると、手斧で加工されたかつての床材が使われ、その風合いに触れることができる。

ただ、県道整備によって敷地境界にあった杉の生垣が失われてしまったことは、残念だった。

主の思いと古き部材を大切に「新しいものは、それに寄り添うよう設計した」と語る設計者にとって、このような再生は初めてであったと言うが、その経験は、今回の推進賞受賞の『高瀬』に引き継がれている。

(西嶋 公一)



工事後1階平面図



工事後2階平面図



工事前1階平面図



「Shipな家」

kumamoto artpolis

事業主 ■ 豊住賢二
 設計者 ■ 岩瀬隆広建築設計 岩瀬隆広
 施工者 ■ 有限会社ウエダホーム
 所在地 ■ 熊本市江津
 竣工年月 ■ 平成23年7月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 121.17㎡
 建築面積 ■ 73.98㎡
 延床面積 ■ 100.74㎡

三角の変形な土地に立地した建物。現地を是非見たいという気持ちに駆り立てられた。道路に面した角地。設計者と施主は土地選びから関わり、あえてこの土地を選択。随所に工夫が施してある。

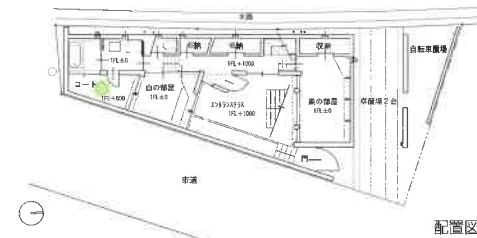
外観はコントラストの効いたモノクローム。まず、外壁横からステップアップして中に入ると、中庭のようなエントランスが現れる。ここを囲むように両サイドに部屋が存在する。

外壁一枚で道路から遮断した空間となり、見上げた空や空気が心地良かった。中の各部屋にはアップダウンのステップで繋がっている。

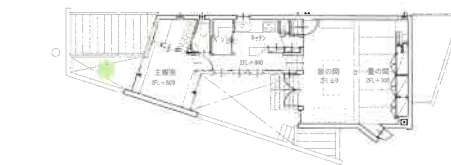
独立型のキッチン。収納の工夫。テレビボードの配線までをすっきりと収納された工夫には、施主のこだわりを感じた。

リビング奥の収納スペース横からは屋上への階段。上がると、物見台の階段状のデッキから周りの江津湖周辺を展望出来る快適な空間が広がる。またここにはルーフ菜園テラスも設けてある。季節を巡りながら、これからの心地良い暮らしがうかがえた。

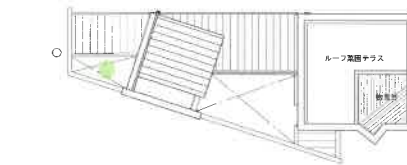
(大野 郁子)



配置図兼1階平面図



2階平面図



屋根伏図

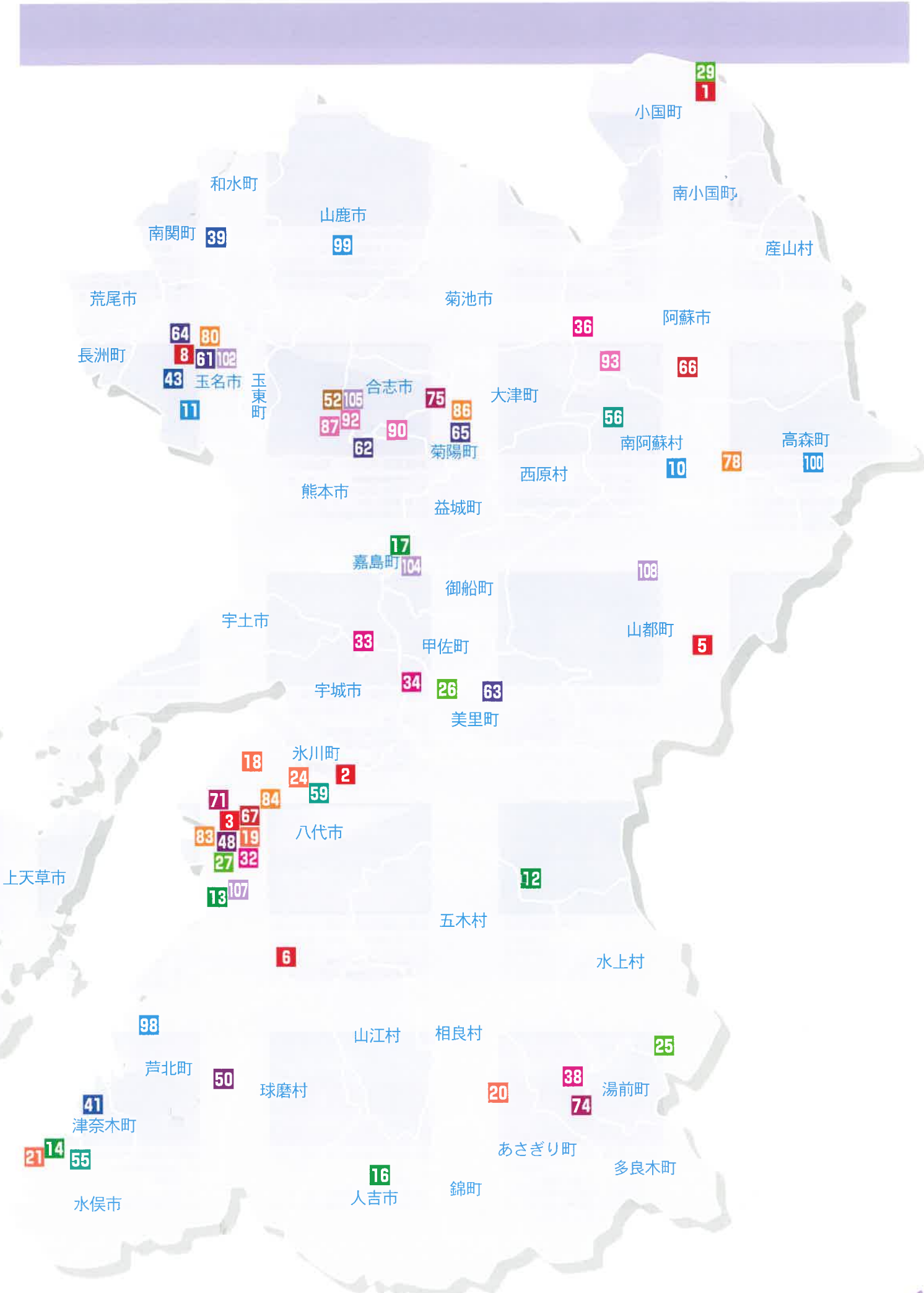


くまもとアートポリス推進賞マップ



【熊本市内中心部】

- | | |
|--------|--------|
| ■ 第1回 | ■ 第11回 |
| ■ 第2回 | ■ 第12回 |
| ■ 第3回 | ■ 第13回 |
| ■ 第4回 | ■ 第14回 |
| ■ 第5回 | ■ 第15回 |
| ■ 第6回 | ■ 第16回 |
| ■ 第7回 | ■ 第17回 |
| ■ 第8回 | |
| ■ 第9回 | |
| ■ 第10回 | |



上天草市

天草市



受賞作品一覧 くまもとアートポリス推進賞(第1回～第16回)

第1回 1995年度

- ◆:推進賞 ◀:推進賞選賞
- 所在地
 - 事業者
 - 設計者
 - 施工者



- ◆11 小国町立西里小学校
- 阿蘇郡小国町
 - 小国町
 - 木島安史+株式会社計画・環境建築
 - 株式会社橋本建設



- ◆12 東陽村石匠館
- 八代市東陽町
 - 八代市(旧東陽村)
 - 木島安史+株式会社計画・環境建築
 - 株式会社盛建設



- ◆13 八代広域行政事務組合 消防本部庁舎
- 八代市
 - 八代広域行政事務組合
 - 株式会社伊東豊雄建築設計事務所
 - 大日本土木株式会社、他



- ◆14 株式会社野田市兵衛商店 流通団地営業所
- 熊本市
 - 株式会社野田市兵衛商店
 - 株式会社ワークショップ
 - 株式会社小竹組



- ◆15 清和物産館
- 上益城郡山都町
 - 山都町(旧清和村)
 - 株式会社石井和雄建築研究所
 - 株式会社日勤工務店



- ◆16 荒瀬ダムボートハウス
- 八代市坂本町
 - 八代市(旧坂本村)
 - 桂英昭+AIR
 - 山口建設株式会社、他



- ◆17 出田眼科病院
- 熊本市
 - 医療法人出田 出田眼科病院
 - 株式会社NTTフシリティーズ九州支店一級建築士事務所
 - 株式会社鴻池組



- ◆18 尚玄山荘
- 玉名市
 - 有限会社有明総業
 - 株式会社竹中工務店九州支店設計部
 - 株式会社竹中工務店九州支店

第2回 1996年度



- ◆19 社会福祉法人慈愛園 ノーマンホーム
- 熊本市
 - 社会福祉法人慈愛園
 - 一級建築士事務所かわつひろし建築工房
 - 安藤建設株式会社九州支店



- ◆20 阿蘇白水温泉「瑠璃」
- 南阿蘇村
 - 南阿蘇村(旧白水村)
 - 杉本洋文/株式会社計画・環境建築
 - 住友建設株式会社九州支店、他



- ◆21 ふるさとセンターY・BOX
- 玉名市横島町
 - 玉名市(旧横島町)
 - 設計計画・石丸事務所
 - 株式会社多々良、他

第3回 1997年度



- ◆22 久連子古代の里
- 八代市泉町
 - 八代市(旧泉村)
 - 株式会社龍環境計画
 - 有限会社岩崎建設、他



- ◆23 養護老人ホーム 八代市立保寿寮
- 八代市
 - 森上孝雄
 - 八代市
 - 株式会社伊東豊雄建築設計事務所
 - 五洋建設株式会社、他



- ◆24 水俣市営洗切団地
- 水俣市
 - 水俣市
 - 株式会社高木富士川計画事務所
 - 若松建設株式会社、他



- ◆25 丸尾焼工房
- 天草市
 - クラフト・ワン株式会社
 - 有限会社上田憲二郎建築事務所
 - 株式会社吉永産業



- ◆26 人吉の舎Ⅱ/平井邸
- 人吉市
 - 平井浩二
 - ばん設計小材事務所
 - 株式会社速水工務店



- ◆27 浮島周辺水辺公園
- 上益城郡嘉島町
 - 嘉島町
 - 九州ランドスケープ
 - 吉川建設有限会社、他

第4回 1998年度



- ◆28 老人保健施設 かがみ苑
- 八代市鐘町
 - 医療法人社団司会
 - 有限会社野中建築事務所
 - 松尾建設株式会社熊本支店



- ◆29 熊本県信用保証協会 八代支所
- 八代市
 - 熊本県信用保証協会
 - 有限会社野中建築事務所
 - 有限会社風設計室
 - 松本建設株式会社



- ◆30 HOUSE:H-M
- 球磨郡あさぎり町
 - 橋爪博
 - 設計組織・RAM
 - 有限会社橋爪建設



- ◆31 水俣市保健センター・水俣市 総合もやい直しセンター
- 水俣市
 - 水俣市・財団法人水俣市振興公社
 - 株式会社高木富士川計画事務所
 - 沢井・和久田・高木建設工事共同企業体、他



- ◆32 古閑邸
- 熊本市
 - 古閑和季
 - IGA建築計画
 - 有限会社鶴田建設



- ◆33 聖母の丘
- 熊本市
 - 社会福祉法人聖母会
 - 株式会社環境開発研究所
 - 株式会社竹中工務店



- ◆34 宮原町下宮はまどん公園
- 八代市水川町
 - 水川町(旧宮原町)
 - 株式会社計画技術研究所九州事務所、株式会社龍環境計画
 - 有限会社有佐樹花園、他

第5回 1999年度



- ◆35 水上村立湯山小学校
- 球磨郡水上村
 - 水上村
 - 株式会社川崎設計事務所
 - 味岡・今村建設工事共同企業体、他



- ◆36 美里町総合交流ターミナル 「石段の里 佐俣の湯」
- 下益城郡美里町
 - 美里町(旧中央町)
 - 有限会社SDA建築設計事務所
 - 株式会社さとうベネック熊本支店



- ◆37 植柳新町公民館 (地域学習センター)
- 八代市
 - 植柳新町町内会
 - みかんぐみ
 - 株式会社米本工務店、他



- ◆38 シルワ・エッセ
- 熊本市
 - 森上孝雄
 - 有限会社ロクス
 - 株式会社岩永組



- ◆39 50M一棟の森美術館
- 阿蘇郡小国町
 - 吉村郁夫
 - 桂英昭+AIR
 - 有限会社鶴野建設



- ◆40 宮崎耳鼻科
- 熊本市
 - 宮崎代介
 - かわつひろし建築工房
 - 株式会社岩永組



- ◆41 矢野邸
- 熊本市
 - 矢野敏之
 - 森脇・建築研究所
 - 株式会社レキセイ

第6回 2000年度



- ◆42 やつしろハーモニーホール
- 八代市
 - 八代市
 - 株式会社桜樹会・古川建築事務所
 - 株式会社銭高組九州支店、他



- ◆43 城南の舎
- 熊本市
 - 小村健治・小村美佐
 - ばん設計小材事務所
 - 有限会社SDA建築設計事務所
 - 株式会社山口工務店



- ◆44 美里町福祉保健センター 「湯の香苑」
- 下益城郡美里町
 - 美里町(旧中央町)
 - 有限会社SDA建築設計事務所
 - 株式会社岩永組、他



◆**33** Nexstageビル
 ①: 熊本市
 ②: 株式会社鶴屋百貨店
 ③: 有限会社美創建築デザイン研究所
 ④: 株式会社建吉組、株式会社美創



◆**34** 熊本YMCA阿蘇キャンプ
メインホール
 ①: 阿蘇市
 ②: 熊本YMCA
 ③: 有限会社風設計室
 ④: 株式会社岩永組



◆**37** セカンドサイト
 ①: 熊本市
 ②: 丸紅不動産有限会社
 ③: 株式会社アーキグラム
 ④: 清水建設株式会社九州支店、有限会社サンワ工務店



◆**38** 霧の倉庫
 ①: 球磨郡多良木町
 ②: 有限会社岡部麗香園
 ③: 設計組織・RAM
 ④: 光進建設株式会社



◆**39** I-HOUSE
 ①: 熊本市
 ②: 井手秀逸
 ③: 横山俊祐十長野聖二・人間建築探検
 ④: 株式会社三津野建設



◆**40** 熊本市現代美術館
 ①: 熊本市
 ②: 熊本市
 ③: 株式会社特設計
 ④: 鹿島・戸田・増永・多々良・勝本建設工事共同企業体



◆**41** UEDA Residence
 ①: 熊本市
 ②: 上田幸一、上田秀一
 ③: 有限会社森繁・建築研究所
 ④: 株式会社山口工務店

第10回
2004年度

第7回
2001年度



◆**42** 往原九州
 ①: 玉名郡南関町
 ②: 株式会社往原製作所
 ③: 清水建設株式会社一級建築士事務所
 ④: 清水建設株式会社九州支店



◆**43** K Residence
 ①: 熊本市
 ②: 川津貴治
 ③: 森繁・建築研究所
 ④: 株式会社岩永組



◆**44** つなぎ美術館
 ①: 葦北郡津奈木町
 ②: 津奈木町
 ③: 株式会社NTTファシリティーズ九州支店一級建築士事務所
 ④: 株式会社植村組、他



◆**45** 九州新幹線 新水俣駅
 ①: 水俣市
 ②: 鉄道・運輸機構九州新幹線建設局
 ③: 株式会社西部交通建築事務所十渡辺誠・アーキテクトオフィス
 ④: 奥村・白石・光進特定建設工事共同企業体



◆**46** S.W.H
 ①: 阿蘇郡南阿蘇村
 ②: 下村初幸
 ③: 有限会社ロクス
 ④: 株式会社橋本建設十有限会社サユール電気設備



◆**47** 宮田の家
 ①: 熊本市
 ②: 三原 紀
 ③: 有限会社U.L設計室
 ④: 中村建築工房



◆**48** 東海大学付属第二高等学校
 ①: 熊本市
 ②: 学校法人東海大学
 ③: 大成建設株式会社
 ④: 株式会社豊工務店



◆**49** 禰田の舎
 ①: 熊本市
 ②: 津嘉山鏡
 ③: ばん設計小村事務所
 ④: 光進建設株式会社



◆**50** ガレリアのある舎
 ①: 玉名市
 ②: 大仁田信一
 ③: 有限会社倉田設計
 ④: 有限会社第一新陽建設



◆**51** Chase
 ①: 天草市
 ②: 山下廣子
 ③: 有限会社現代環境十有限会社ロクス
 ④: 野上建設株式会社



◆**52** キューネット社員寮「希翔館」
 ①: 熊本市
 ②: 株式会社キューネット
 ③: 株式会社北山創造研究所十株式会社K計画事務所
 ④: 五洋・酒井建設工事共同企業体



◆**53** ひだまりのまち B4
 ①: 八代郡水川町
 ②: 宮原町B街区優良建築物等整備事業組合
 ③: 有限会社F.U設計
 ④: 株式会社多々良

第11回
2005年度



◆**54** K-house in 近見
 ①: 熊本市
 ②: 古閑靖浩
 ③: 西山英夫建築環境研究所
 ④: 株式会社東陵建設



◆**55** 高瀬蔵
 ①: 玉名市
 ②: 玉名商工会議所
 ③: 株式会社連合設計社市谷建築事務所
 ④: 植野建設株式会社

第8回
2002年度



◆**56** 久野邸
 ①: 熊本市
 ②: 久野啓介
 ③: 久野啓太郎一級建築士事務所ヒマラヤ
 ④: 株式会社岩永組



◆**57** 立山山野外保育センター「雑草の森」
 ①: 熊本市
 ②: 社団法人熊本市保育園連盟
 ③: 田崎順ニランドスケーププロジェクト株式会社
 ④: 株式会社雷坂建設



◆**58** 八代の町屋
 ①: 八代市
 ②: 坂井和子
 ③: ばん設計小村事務所
 ④: 有限会社楠元建設



◆**59** 3 Towers
 ①: 合志市
 ②: 上田敏雄、上田民子
 ③: 菊池建築工房
 ④: 有限会社高木ハウジング



◆**60** 美里町立中央小学校体育館
 ①: 下益城郡美里町
 ②: 美里町
 ③: 有限会社SDA建築設計事務所
 ④: 株式会社高橋建設



◆**61** 玉名温泉つかさの湯
 ①: 玉名市
 ②: 司観光開発株式会社
 ③: 清水建設株式会社九州支店、株式会社フィールドフォー・デザインオフィス
 ④: 清水建設株式会社九州支店



◆**62** 堀田眼科医院
 ①: 菊池郡菊陽町
 ②: 堀田明弘
 ③: グローバルアーキテクトチーム
 ④: 清水建設株式会社九州支店



◆**63** うえのえデンタルクリニック
 ①: 熊本市
 ②: 井上公敏
 ③: 西山英夫建築環境研究所
 ④: 株式会社雷坂建設



◆**64** 大野温泉センター
 ①: 葦北郡芦北町
 ②: 芦北町
 ③: 株式会社日建設計
 ④: サンエー・松下建設工事共同企業体、他

第9回
2003年度



◆**65** 熊本保健科学大学
 ①: 熊本市
 ②: 学校法人銀杏学園
 ③: 株式会社佐藤総合計画
 ④: りんかい日産建設株式会社

第12回
2006年度



◆**66** 阿蘇の舎
 ①: 阿蘇市
 ②: 松浦朝海
 ③: ばん設計小村事務所
 ④: 株式会社山口工務店



◆**67** Minna Dental Clinic
 ①: 八代市
 ②: 川村順子
 ③: 高安重一・遊佐公一/有限会社アーキテチャー・ラボ
 ④: 株式会社日動工務店



◆**68** 西の久保公園
 ①: 天草市
 ②: 天草市
 ③: 株式会社大塚環境計画事務所
 ④: 有限会社天祐建設工業所、他



◆B'-studio
①: 熊本市
②: 戸次和弘
③: 一級建築士事務所ヒマラヤ
④: 株式会社九州建設



◆Eternity 歯科
①: 熊本市
②: 医療法人永田歯科クリニック
③: アクティブ デザイン
④: 株式会社日動工務店



第13回
2007年度



◆H-court
①: 八代市
②: 林田聖二
③: 岩瀬隆広建築設計
④: 株式会社米本工務店



◆熊本学園大学14号館
(60周年記念会館)
①: 熊本市
②: 学校法人熊本学園
③: 野中建築事務所
④: 熊谷・小竹・酒井建設工事共同企業体



◆城下町の住宅
①: 熊本市
②: 下田誠也
③: 塩塚隆生アトリエ
④: 株式会社建吉組



◆多良木町交流館石倉
①: 球磨郡多良木町
②: 多良木町
③: かちあデザイン一級建築士事務所
④: 肥後環境株式会社、他



◆グリーン、フィールドアンドカンパニー
アジアエンジニアリングセンター
①: 合志市
②: グリーン、フィールドアンドカンパニー
ジャパン株式会社
③: 萩野アトリエ
④: 株式会社建吉組



第15回
2009年度



◆煙の中の一軒家
①: 熊本市
②: 山中智広
③: すまい塾古川設計室有限会社
④: 楠元建設有限会社



◆川上酒店
①: 熊本市
②: 株式会社川上酒店
③: 長野聖二・人間建築探検隊
④: イマムラ店舗工業



◆i-CUBE #01
(アイキューブ #01)
①: 熊本市
②: 株式会社夢工房 和樂
③: ラッツ・アーキテクト株式会社
④: 株式会社夢工房 和樂



◆AI mall
①: 熊本市
②: 萩原秀道
③: アクティブデザイン
④: 酒井建設工業株式会社



◆コンパスポイント本社ビル
①: 熊本市
②: 有限会社コンパスポイント
③: 株式会社agアーキテクト
④: 株式会社建吉組



第14回
2008年度



◆障害者多機能型施設
高森寮
①: 阿蘇郡高森町
②: 社会福祉法人立正福祉会
③: 有限会社中川建築設計事務所
④: 株式会社橋本建設



◆熊本市下通
2・3・4番街アーケード
①: 熊本市
②: 熊本市下通2・3・4番街
商店街振興組合
③: 上窪哲也建築計画事務所
④: 武末・さとう建設工事共同企業体



第16回
2010年度



◆道と暮らす家
①: 熊本市
②: 後藤謙哉
③: 株式会社後藤謙哉事務所
④: 中山工業



◆天草文化交流館
①: 天草市
②: 天草市
③: 田中設計事務所
④: 有限会社鶴田建設



◆B-house in 島崎
①: 熊本市
②: クリストファー プッシュ
大村美和
③: 西山英夫建築環境研究所
④: 株式会社富坂建設



◆ジャングルジムの家
①: 玉名市
②: 後藤真一郎、後藤祥子
③: 村田建築設計所
④: 有限会社村田工務店



◆Chro-e#01 (クローイー#01)
①: 熊本市
②: 町頭憲太郎
③: ラッツ・アーキテクト株式会社
④: 株式会社夢工房 和樂



◆ガーデンコートゆうかり
①: 熊本市
②: 株式会社熊本マタニティサー
ビス
③: ばん設計小村事務所
④: 株式会社松島建設



◆C-HOUSE
①: 熊本市
②: 相良常氏
③: 長野聖二・人間建築探検隊
④: 有限会社ウエダホーム



◆芦北町立佐敷小学校
①: 葦北郡芦北町
②: 芦北町
③: 株式会社橋山設計九州支社
④: 東洋・日動建設共同企業体



◆百年遺伝子の門
①: 山鹿市
②: 野澤信男
③: 株式会社福山空間建設研究所
④: 株式会社福山空間建設研究所



◆T-house in 高森
①: 阿蘇郡高森町
②: 豊田健次郎
③: 西山英夫建築環境研究所
④: 有限会社ウエダホーム



◆松木運輸株式会社
①: 八代市
②: 松木運輸株式会社
③: 上村設計工房
④: 直営



◆しらすぎおざや
①: 八代市
②: 株式会社シラサギ
③: 有限会社倉田設計
④: 五徳創建株式会社、村上造園



◆済生会熊本病院
外来がん治療センター
①: 熊本市
②: 社会福祉法人恩賜財団
済生会熊本病院
③: 株式会社東畑建築事務所
④: あおみ建設株式会社



◆barn renovation
①: 菊池郡菊陽町
②: 赤峰洋次
③: 坂本達哉建築設計事務所
④: 有限会社ウエダホーム